

Ⅱ．安全な森林保全管理活動について

1 安全装備をそろえる（ひょうご森林林業協同組合連合会でも各種販売中）

活動を行うに当たり、安全のための装備をそろえることは必要不可欠です。もし、装備が十分でない場合は、まず、安全装備の充実のために本交付金を使ってください。

動力付きの機械を利用しない場合でも、ヘルメットなどの安全装備の着用が必要です。

チェーンソーや刈払機など、動力付きの機械を利用する場合には、必ず、その機械に対応した安全装備を着用するようにしてください。

▶購入が望ましい代表的な安全装備

①ヘルメット

物体の飛来又は落下による危険を防ぎ、転落時の衝撃から頭を保護するためにヘルメットの着用が必要です。労働安全衛生規則では、造林等の作業時にヘルメットの着用が義務付けられています。

森林内での作業を伴う場合だけでなく、見回りや講習会等でも、森林内では参加者全てにヘルメットを着用してもらうようにしてください。

ヘルメットは消耗品です。汗や紫外線などにより、劣化していきます。性能が維持されているうちに取り換えが必要です。また、利用に当たっては、耐久年数を確認するだけでなく、日常の点検により、劣化や破損が生じていないかどうかを確認してください。

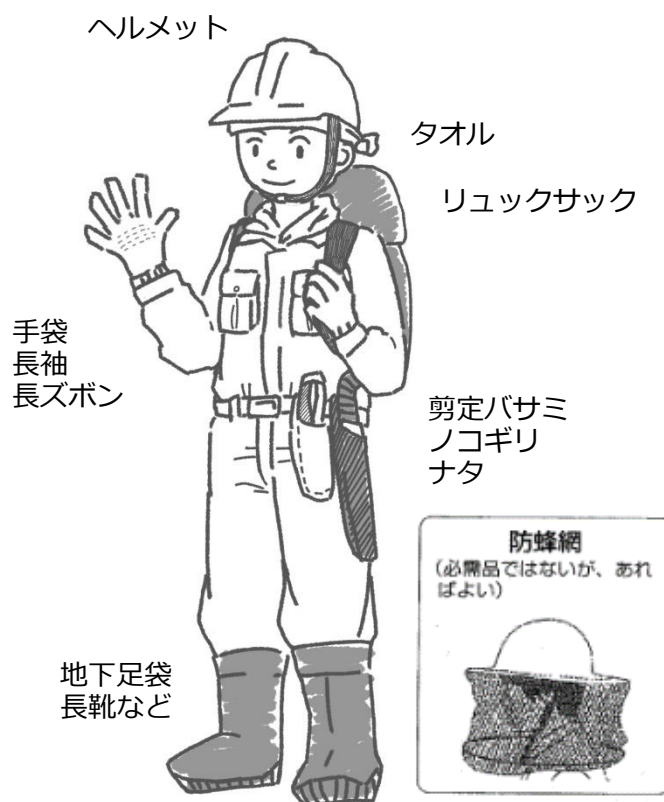


図 安全な服装

②チェーンソーや刈払機を利用する際の安全装備

チェーンソーを使用する場合は、必ず、下図に示すような安全装備をそろえるようにしてください



図 動力付き機械を使用する際の安全装備

2 自然に関する危険

ハチ

スズメバチ類は外敵に対して巣を守る防衛本能が発達しており、人などが巣に近づくと「警戒」から「攻撃」への行動をとります。スズメバチは巣の近くを警戒バチが飛んでいるので、出会ったら手で振り払ったり、大声を上げたり、急な動きをしないで、静かに巣から離れる。一旦、警戒バチに攻撃されると仲間を呼ぶので、その場合は一目散に逃げる。黒色の服装（帽子、髪の毛なども）はスズメバチに狙われるので避ける。甘い香りの香水やジュースにも寄ってくるので、注意する。



マムシ

湿度のある場所などマムシが出そうな場所では、脚絆あるいはスッパツを着用するか長靴を履く。また音を立てながら行動して相手に逃げる余裕を与える（特に6月中旬から9月頃にかけての繁殖期は危険）。倒木などをいきなり跨がないで足元を確認してから足を出す。



ヒル・ダニ

足元から這い上がることが多いので、ヒル・ダニがいる場所では脚絆を装着するか、長靴を履いて足元への侵入を防ぐ。ヒルにはすそ周りにヒルの嫌いな塩や木酢液やヤマビル忌避剤などを塗布する。ダニには虫よけスプレーなどを塗布する。



クマ

クマが出没する恐れのある場所では、鈴や携帯ラジオなどの音を立てながら行動する。



ウルシ

ウルシそのものには毒性はないが、ウツシオールによるアレルギー接触皮膚炎で、一度かぶれるとその後は以前よりかぶれ易くなる傾向がある。負ける人は触れないようにする。腕カバーなどを使用して、肌を出さない。※写真はヤマウルシ（紅葉）



カミナリ

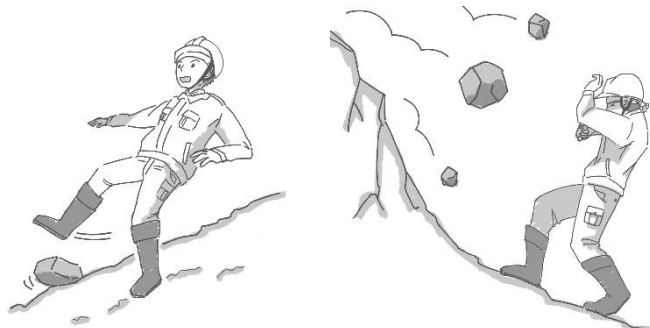
積乱雲が見え雲の流れが自分たちの方へ向かっていたり、遠方でも雷鳴が聞こえ音と光の間隔が短くなってきたら、ただちに作業を中止して安全な場所へ避難する。金属類を身体から離してくぼ地で姿勢を低くしてやり過ごす。背の高い大きな木の下は避ける。



3 足元に注意

浮き石

地面にしっかりと埋まっていない石（浮き石）には転倒、落石防止のため、触らないこと。浮き石や落石に気がついたら速やかに知らせること。石、切り株、つる等が足元にあると不安定なので移動時には足元に十分注意して転倒や捻挫をしないようにする（特に下り坂は注意する）。



4 火災予防



5 ハンター

狩猟期には鹿・猪と間違われにくい服装をする。白色の首タオル、腰タオルは避ける。携帯ラジオをつけたり、努めて会話をするなど、音・声をたてながら作業を行う。集団から離れて一人で作業をしない。



6 ケガをした場合

リーダーや救急隊が来るまで安静に。ケガ人のそばには必ず一人は付く、



7 作業前の注意

○ツールボックスミーティング

確認事項：参加者、健康状態、服装、作業内容、危険予知、緊急連絡先、作業用具

○準備運動

8 作業をする時の注意

○一般的な注意

(1) 周りの人に注意する。

- ① 隣の人とは十分に間隔をあける（刃物の動く距離の2倍は離れる）。
- ② 上下作業は禁止：作業をしている下側では作業をしない。作業をしている人の上側では作業をしない。
- ③ 木を倒す前は必ず笛や声をかけて合図をし、退避したことを確認してから倒す。

(2) 身体はリラックス、だけど集中力は保つ。

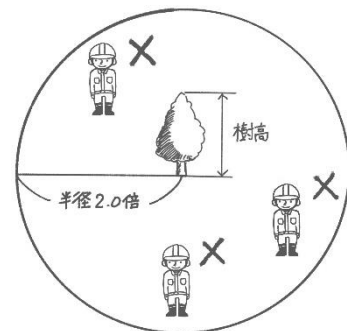
- ① 作業前には、準備運動を行う。
- ② 作業に伴う危険を思い浮かべて、その予防を確認する。
- ③ 「慣れてきた時」「終了間際」が最も危険な時間帯…指差し確認で注意力を喚起する。

(3) 1人にならない…いざという時に仲間に声が届く範囲で行動する。

(4) 作業地への出入り…転んでもケガをしないように注意する。



- ① 刃物にはカバーをして移動する。
- ② 前の人との間隔は十分あけて歩く。
- ③ 道具の長さの2倍以上の間隔をあけて歩く。
- ④ できる限り両手は自由しておく。
- ⑤ 道具は谷側に持ち、山側の手は空けておく。
- ⑥ 大鎌を杖にしない。
- ⑦ 道具を置くときは、滑らないように安定させ、刃は見えやすい状態にしておく。



- (5) 作業をしている人の近くを通るときは合図をし、安全を確認してから通る。



○除間伐作業（胸高直径がビール瓶程度）

- (1) 初心者は安全のためにノコギリと剪定鋏を使用する。
- (2) 除伐する樹高の2倍以内に他の人がいないことを確認する。指差し確認をする。
- (3) 伐る前にしっかりした足場と無理のない姿勢を確保する。
- (4) 斜面の下に向かっての体勢でかん木などを伐る作業は行わない。
- (5) かかり木はそのまま放置しない。
- (6) 枝払いは幹を挟んで向こう側の枝を払う。手前の枝は身体を入れ替えてから払う。
- (7) 押さえられて弓なりになっている枝やかん木は一気に払わずに、ノコギリで力を弱めてから伐る。
- (8) 鋭く尖った切り口は踏抜きをおこすので、かん木やササなどはナタを使用しない。



○竹林作業

- (1) 竹を伐るときは、ノコギリを使用し、なるべく地面に近い位置で伐る。
- (2) 2段切りをする。
- (3) 枝払いは剪定鋏を使用する。ナタは滑りやすく、かつ、切り口が鋭利になるので使用しない。
- (4) 竹は滑りやすいので、斜面での作業は滑落に注意する。
- (5) 密生している竹林の場合は、無理に竹林内部から伐るのではなく、竹林の周囲を伐りやすい箇所から作業を始める。

9 保険に加入する

本交付金を活用するためには、傷害保険に加入することが必須の条件となっています。

本交付金を活用するに当たっては、森林作業を対象とした保険に必ず加入するようにしてください。NPO 法人森づくりフォーラムや各都道府県の社会福祉協議会などで森林ボランティアのための保険を取り扱っています。傷害保険、ボランティア保険、イベント保険への加入にかかる費用は、本交付金の交付対象となります。保険に加入したからといっても、安全を軽視してよいわけではありません。

▶保険加入に当たっての留意点

- 保険の種類によっては、事前に活動参加者の個人情報が必要な保険と、そうでなくとも適用される保険があります。活動への参加者の募集状況を踏まえて選ぶようにしてください。
- 皆さんの森林での作業内容をカバーできる保険を選ぶようにしてください。保険によっては、チェーンソーなどの動力付きの機械を利用した際の事故は、保険適用の対象外となるケースがあるので注意が必要です。
- 森林での作業においては、熱中症が生じる場合があります。しかし、傷害保険の中には熱中症が生じても病気の扱いで適用の対象外としているケースもあるので注意が必要です。傷害保険でも、特約という形で熱中症を対象とすることができる場合があります。
- 本交付金では、傷害保険への加入が義務付けられていますが、傷害保険では自分がケガをした場合にしか適用されません。しかし、実際の作業では活動への参加者だけでなく、周辺に被害を及ぼす可能性もあります。他人に対して被害を及ぼした場合に適用される保険である賠償責任保険にも対応した保険に加入することも推奨します。
- なお、NPO 法人森づくりフォーラムなどが取り扱う森林ボランティア用の保険では、傷害保険と賠償責任保険の両方に対応する保険商品となっている場合があります。保険の適用範囲を確認し、利用する保険を選んでください。

傷害保険 : 参加者が活動を行う際にケガをした場合のための保険です。

賠償責任保険 : 活動を行う際に、他人にケガを負わせたり、他人の持ち物を壊したりした際に、賠償する場合のための保険です。

10 安全講習を行う

本交付金での活動を実施するに当たっては、安全に作業を行うことができるように、活動参加者を対象とした安全講習を行うことが義務付けられています（対象森林外でも対象）。

普段行っている作業について、安全上の問題がないかなどを改めて確認する機会とするようにしてください。

安全講習により期待されることの例

- ・活動対象地についての理解を深める（対象地にどのような危険があるか など）
- ・作業内容についての理解を深める
- ・使用する機材や道具の利用方法や整備方法についての理解を深める
- ・作業中に発生する可能性のあるケガや病気等とその対応についての理解を深める
- ・事故を防止するためのコミュニケーション方法や実際に危ないと感じたことの情報共有を進めるなど

▶講師になる方は積極的に外部の安全講習を受講しましょう。

講師になる方は、都道府県や地域協議会等が主催する安全講習会には積極的に参加するようにしてください。正しい知識に基づいて、正しく作業を行わないと、重大な事故を引き起こす可能性があります。

過去に事故が生じていなかったとしても、自己流のみの対策は、実は重大な危険をはらんでいる可能性があります。

▶教えることで活動の質を高めることができます。

安全講習に限らず、活動組織内で安全のために何が必要であるのかについて、出来るだけ多くの活動参加者が他人に教えることができるようにすることが望ましいです。

他人に物事を教えることができるようにするためには、安全対策や道具・機材の使い方などの教える内容そのものについて、十分な理解が必要です。

教える過程で自分自身の理解が不十分な点について発見することもあります。

また、他人に理解できるように教えることができる参加者が増えることは、新たな参加者を集め、活動を広げていく上で大きな力となります。

11 災害が発生した場合▶被災者の救護を優先に対応しましょう。

災害が発生した場合には、慌てずに被災者の救護を第一に対応してください。そして、家族や地域協議会など関係者にも連絡をしてください。

地域協議会は、災害発生の連絡を受けましたら、直ちに林野庁へ第一報の連絡をしてください。特に、死亡や重傷の場合は、至急電話にて林野庁に連絡してください。その後も速やかに、被災者の状況や災害の発生状況の把握、原因の調査、再発防止策の検討を行い、林野庁にも報告をお願いします。

このため、予め緊急時に必要となる対応の手順について定めておき、関係者の間で周知しておくようにしてください。

なお、林野庁への報告事項は、以下のとおりです。

【災害発生概要の報告事項】

災害発生概要（第〇報）

1 災害発生状況

- (1) 発生日時
- (2) 発生場所
- (3) 被災者 ①活動組織名
- ②氏名 (性別 年齢)

(4) 発生状況

2 対応経過

3 負傷の状況

4 その他参考情報

- (1) 当日の装備状況（ヘルメット、手袋、チャップス等の装着状況）
- (2) 保険加入状況
- (3) 資格取得関係（チェーンソー等の資格、伐木等特別教育等の状況）（※可能な範囲で記載）
- (4) その他（※可能な範囲で記載）

12 ツキノワグマによる人身事故防止のために

春先から初夏にかけて、ハイキングや山菜採りなどで山に入るとクマとの出会いがしらの事故が発生することがあります。
山に入るときは、次のことに充分ご注意ください。

山に入るときに注意事項

音の出るものを身につける

〔クマに人の存在を知らせる〕

- ・鈴やラジオを携帯する
- ・複数人で話をしながら行動する

山野にゴミを捨てない

〔クマを執着させない〕

- ・弁当の残りや飲料水の容器は必ず持ち帰る

周囲の状況に気を払う

- ・山林内では周囲の状況にも充分注意する
(山菜採りなど夢中になりがち)

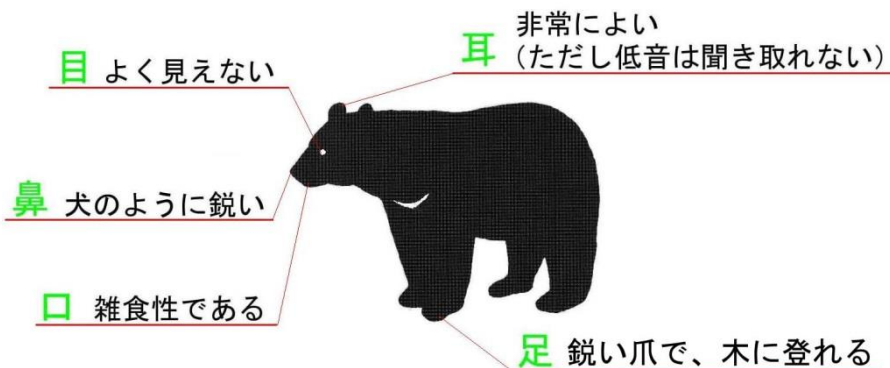
子グマにも注意

- ・子グマでも大変危険
- ・母グマは本能的に子グマを守るため襲ってくることもある

それでも出会ってしまったときは

- ・クマを驚かせない
- ・クマに背を向けず、後ずさりして立ち去る

クマの生態特性



- ◆クマは嗅覚、聴覚が特に発達している。
- ◆子グマがいれば、近くに母グマがいる可能性が高い。
- ◆大柄で鈍そうに見えるが、山の中では人間よりも俊敏で、木に登ることもできる。
- ◆夜明け前、夕暮れ時など薄暗い時間帯に行動することが多い。

季節ごとの行動

春：冬眠から目覚める（4月上旬頃）
山菜などを食べる（5月頃）

夏：繁殖（交尾）をする（6～7月頃）
※このころクマの行動域が広くなる

※ハイキングや
山菜採りなどで
山に入った人が
出会う危険性大

秋：冬眠準備のため木の実・果樹などの食べ物を探し回る
※食べ物を求めて人里まで降りてくることあり（柿・栗等）

冬：穴の空いた木や、木の根本に穴を掘り、冬眠する
※一部のメスは、冬眠中に1～2頭出産する

クマを目撃した時は、最寄りの市町まで連絡願います。

マダニ対策、今できること

1. マダニの生息場所
2. マダニから身を守る服装
3. マダニから身を守る方法
4. 忌避剤の効果
5. 国内で入手できる忌避剤の種類と特徴



- 参考資料
- 1) マダニの分類とマダニ媒介感染症
 - 2) マダニ媒介SFTSとは
 - 3) マダニの生活環

Kana S. Illustrations
衛生昆虫写真館 Photos

マダニ対策に関するお問い合わせ

国立感染症研究所昆虫医科学部
Tel: 03-5285-1111 (代表)
Fax: 03-5285-1178
e-mail: info@nih.go.jp

SFTS対策全般に関するお問い合わせ

国立感染症研究所
Tel: 03-5285-1111(代表)
厚生労働省健康局結核感染症課
Tel: 03-5253-1111(代表)

昆虫医科学部ホームページ: <http://www.nih.go.jp/niid/ja/sfts/2287-ent/3964-madanitaisaku.html> (2017年5月12日更新)

1. マダニの生息場所



マダニは、シカやイノシシ、野ウサギなどの野生動物が出没する環境に多く生息しています。

マダニは、民家の裏山や裏庭、畑、あぜ道などにも生息しています。



2. マダニから身を守る服装

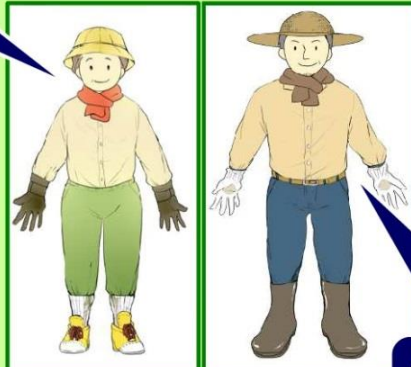
野外では、腕・足・首など、肌の露出を少なくしましょう！

首にはタオルを巻くか、
ハイネックのシャツを
着用しましょう。

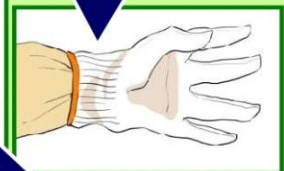


半ズボンやサンダル履き
は不適當です！

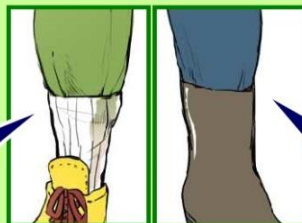
ハイキングなどで山林に入る
場合は、ズボンの裾に靴下
を被せましょう。



シャツの袖口は
軍手や手袋の中に
入れましょう。



シャツの裾はズボン
の中に入れましょう。



農作業や草刈などでは
ズボンの裾は長靴
の中に入れましょう。

3. マダニから身を守る方法

上着や作業着は、
家の中に持ち込まない
ようにしましょう。



屋外活動後は、
シャワーや入浴で、
ダニが付いていないか
チェックしましょう。



ガムテープ
を使って服に
付いたダニを
取り除く方法
も効果的です。

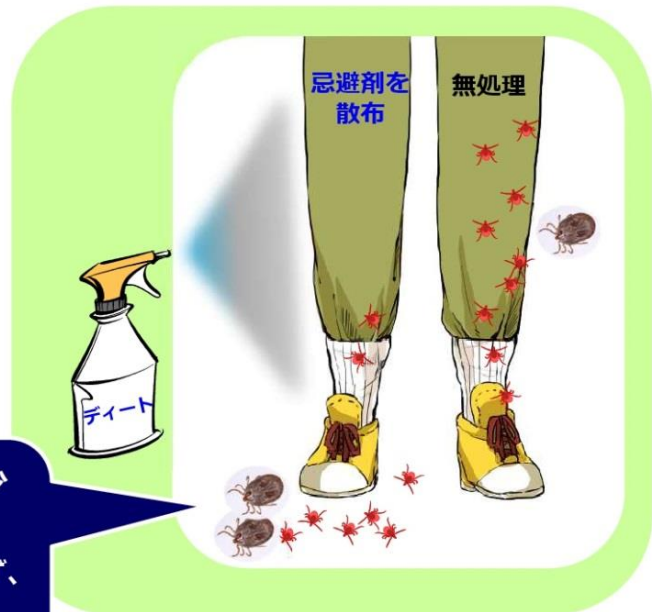
ダニ類の多くは、長時間（10日間以上のこともある）吸血します。吸血中のマダニを無理に取り除こうとすると、マダニの口器が皮膚の中に残り化膿することがあるので、皮膚科等の医療機関で、適切な処置（マダニの除去や消毒など）を受けて下さい。

マダニに咬まれたら、数週間程度は体調の変化に注意し、発熱等の症状が認められた場合は、医療機関で診察を受けて下さい。

4. 忌避剤の効果

マダニに対する忌避剤（虫よけ剤）が、2013年から新たに認可されました。現在は、ディート、イカリジンの2種類の有効成分の忌避剤が市販されています。

忌避剤の使用でマダニの付着数は減少しますが、マダニの付着を完全に防ぐわけではありません。忌避剤を過信せず、様々な防護手段と組み合わせて対策を取ってください。

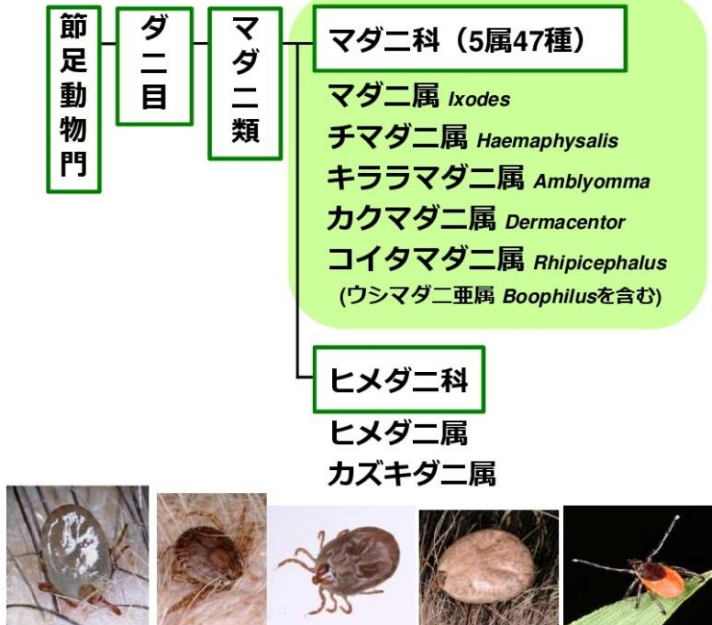


5. 国内で入手できる忌避剤の種類と特徴

忌避剤	有効成分含有率	分類	効力持続時間	注意事項	特徴
ディート	5～10 %	防除用医薬部外品	1～2時間	6ヶ月未満児には使用禁止	・独特の匂い ・べたつき感 ・プラスチック・化学繊維・皮革を腐食することもある
	12 %	防除用医薬品	約3時間		
	高濃度製剤 30 %	防除用医薬品	約6時間	12歳未満は使用禁止	
イカリジン	5 %	防除用医薬部外品	～6時間		
	高濃度製剤 15 %	防除用医薬品	6～8時間		

参考資料 1) マダニの分類とマダニ媒介感染症

マダニは、世界中に800以上の種が知られています。そのうち日本には47種が生息しています。



マダニが媒介する感染症

() 内は病原体の種類

日本紅斑熱 (リケッチア)

Q熱 (リケッチア)

ライム病 (スピロヘータ)

ボレリア症 (細菌)

野兔病 (細菌)

重症熱性血小板減少症候群 SFTS

(フレボウイルス)

ダニ媒介性脳炎 (フラビウイルス)

キャサナル森林病 (フラビウイルス)

クリミア・コンゴ出血熱

(ナイロウイルス)

..... など

参考資料 2) マダニ媒介SFTSとは

重症熱性血小板減少症候群 (Severe fever with thrombocytopenia syndrome: SFTS)

これまでに、**中国・日本・韓国**でSFTSの患者が報告されています。中国では**フタトゲチマダニ**と**オウシマダニ**からウイルスが見つかっています。



ウイルスの潜伏期間
は (マダニに咬まれてから) **6日~2週間**とされています。

2016年は、西日本を中心とした21府県から届出されています。() 内は発症数



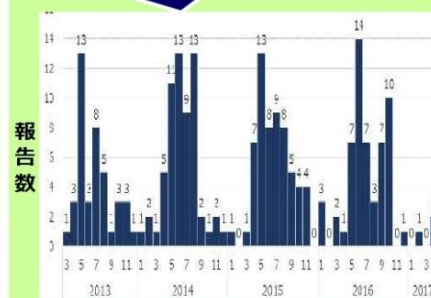
SFTS患者報告基本情報

合計	232名
性別	男 111 女 121
年齢	中央値 73歳
	~20代 2
	30代 4
	40代 4
	50代 15
	60代 66
	70代 65
	80代 70
	90代 36

(2017年4月26日 現在)

2013年1月1日以降に報告された患者 (合計232名) です。

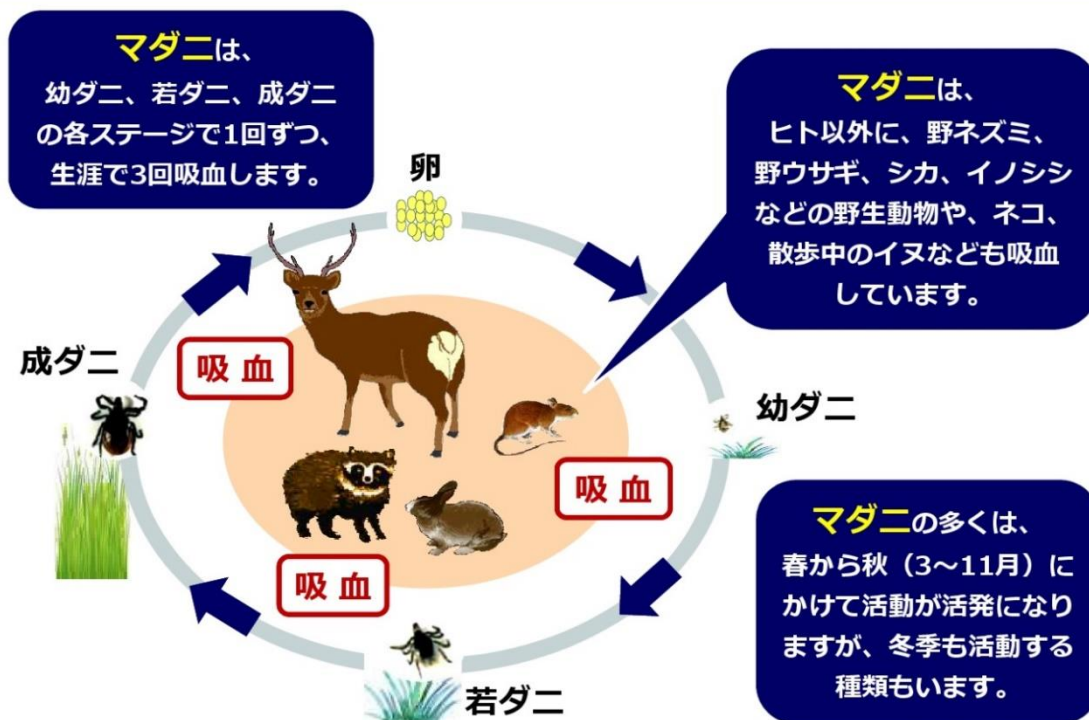
SFTS患者は5~8月に多く発症しています。



患者発症月

資料は、国立感染症研究所ホームページ：
<https://www.niid.go.jp/niid/ja/diseases/sa/sfts.html>を引用

参考資料 3) マダニの生活環



重症熱性血小板減少症候群（SFTS）に関する Q&A

問 1 重症熱性血小板減少症候群（severe fever with thrombocytopenia syndrome: SFTS）とはどのような病気ですか？

- 答 2011 年に中国において新しい感染症として流行していることが報告された病気です。病原体は、SFTS ウイルスであることが確認されました。主な初期症状は発熱、全身倦怠感、消化器症状で、重症化し、死亡することもあります。

問 2 重症熱性血小板減少症候群は、世界のどこで発生していますか？

- 答 2011 年以降、日本、中国、韓国、台湾及びベトナムで患者発生が確認されています。アジアの広い地域で流行している可能性があります。

問 3 日本で SFTS 患者はどのくらい発生していますか？

- 答 2013 年 1 月、SFTS の患者（2012 年秋に死亡）が国内で初めて確認されて以降、毎年 60～100 名程度の患者が報告されています。（問 11 参照）

問 4 どうして日本で感染したと分かったのですか？

- 答 海外渡航歴のない日本在住の患者から分離されたウイルスが SFTS ウイルスと同定されました。このウイルスの遺伝子のタイプは、中国の流行地域で見つかった SFTS ウイルスのタイプとは異なっていました。つまり、日本の SFTS ウイルスは、中国から入ってきたものではなく、以前から日本国内に存在していたと考えられます。その事実から患者は日本国内で SFTS ウイルスに感染したと言えます。

問 5 SFTS ウイルスにはどのようにして感染するのですか？

- 答 ウイルスを有するマダニに咬まれることにより感染します。多くの場合、マダニに咬まれて SFTS ウイルスに感染すると考えられますが、マダニに咬まれた痕が見当たらない患者もいます。

最近の研究では、SFTS ウイルスに感染し、発症している野生動物やネコ・イヌなどの動物の血液から SFTS ウイルスが検出されています。特に SFTS ウイルスに感染し、発熱、消化器症状（食欲不振等）

を呈しているネコやイヌに咬まれたり、血液などの体液に直接触れたりすることで、SFTS ウイルスに感染する可能性は否定できないと考えられます。

問 6 ネコやイヌから SFTS ウイルスに感染する危険性があるということですか？

- 答 ネコやイヌが SFTS ウイルスに感染するとヒトで認められる症状（問 36 参照）を呈することがあります。SFTS ウイルスに感染し、発症している動物の血液などの体液に直接触れた場合、SFTS ウイルスに感染する可能性があります。実際に、ネコに咬まれたことが原因で SFTS ウイルスに感染した事例が報告されています。ただし、健康なネコやイヌ、屋内のみで飼育されているネコやイヌからヒトが SFTS ウイルスに感染した事例はこれまでに報告がありません。

問 7 ネコなどの動物から SFTS ウイルスに感染しないようにするためには、どのように予防すればよいですか？

- 答 動物由来感染症に対する予防の観点からも、動物を飼育している場合、過剰な触れ合い（口移しでエサを与えたり、動物を布団に入れて寝たりすることなど）は控えてください。また、動物に触ったら必ず手を洗いましょう。また、動物に付着したマダニは適切に駆除しましょう（問 20 参照）。飼育している動物の健康状態の変化に注意し、動物が体調不良の際には、咬まれたり舐められたりしないように細心の注意を払いながら、動物病院で診てもらってください。ペットがマダニに咬まれないようダニ駆除剤も有効です。獣医師に相談しましょう。

野生動物は、どのような病原体を保有しているかわかりません。野生動物との接触は避けてください。また、動物の死体等に接触することは控えましょう。

体に不調を感じたら、早めに医療機関を受診してください。受診する際は、ペットの飼育状況やペットの健康状態、また動物との接触状況についても医師に伝えてください。

問 8 マダニは、屋内で普通に見られるダニとは違うのですか？

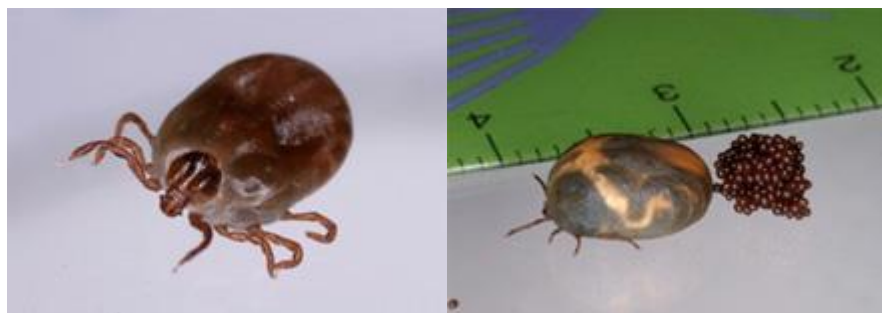
- 答 マダニと食品等に発生するコナダニや衣類や寝具に発生するヒョウヒダニなど、家庭内に生息するダニとは種類が異なります。また、植物の害虫であるハダニ類とも異なります。

マダニ類は、固い外皮に覆われた比較的大型（種類にもよりますが、成ダニでは、吸血前で 3～8mm、吸血後は 10～20mm 程度）のダニで、主に森林や草地に生息していますが、市郊外、市街地でも生息しています。

問 9 どのような種類のマダニが SFTS ウイルスを保有しているのですか？

- 答 中国では、フタトゲチマダニやオウシマダニといったマダニ類から SFTS ウイルスが見つかっています。また、韓国でもフタトゲチマダニが SFTS ウイルスを保有しているとの報告があります。日本には、命名されているものだけで 47 種のマダニが生息するとされていますが、これまでに実施された調査の結果、複数のマダニ種（フタトゲチマダニ、ヒゲナガチマダニ、オオトゲチマダニ、キチマダニ、タカサゴキラマダニ）から SFTS ウイルスの遺伝子が検出されています。日本ではフタトゲチマダニとタカサゴキラマダニがヒトへの感染に関与しています。

フタトゲチマダニ



タカサゴキラマダニ



問 10 全てのマダニが SFTS ウイルスを保有しているのですか？

- 答 全てのマダニが SFTS ウイルスを保有しているわけではありません。中国の調査では、患者が発生している地域で生息しているフタトゲチマダニの数%から SFTS ウイルスの遺伝子が見つかったと報告されています。日本国内では、これまでに複数のマダニ種（フタトゲチマダニ、ヒゲナガチマダニ、オオトゲチマダニ、キチマダニ、タカサゴキラマダニ）から SFTS ウイルスの遺伝子が検出されています。ウイルス保有率は地域や季節によりますが、0～数%です。

問 11 マダニに咬まれたことにより感染する病気は国内に他にありますか？

- 答 日本紅斑熱、ライム病など多くの感染症がマダニによって媒介されることが知られています。北海道ではマダニによって媒介されるダニ媒介脳炎の患者が発生しています。また、ダニの一種であるツツガムシによって媒介される、つつが虫病もあります。SFTS、日本紅斑熱、ライム病、つつが虫病及びダニ媒介性脳炎の日本国内での年間報告数（2014 年～2018 年）は下表のようになっております。

	重症熱性血小板減少症候群*	日本紅斑熱	ライム病	つつがむし病	ダニ媒介性脳炎
2014 年	61	241	17	320	0
2015 年	60	215	9	423	0
2016 年	60	277	8	505	1
2017 年	90	337	19	447	2
2018 年	77	305	13	456	1

*重症熱性血小板減少症候群（病原体がフレボウイルス属 SFTS ウイルスであるものに限る。）

- 日本紅斑熱、ライム病、つつが虫病は基本的には抗菌薬で治療されます。しかし、現時点では SFTS とダニ媒介脳炎には、有効な抗ウイルス薬はなく、患者の症状にあわせた治療がなされます。

問 12 マダニから SFTS ウイルスに感染しないようにするためには、どのように予防すればよいですか？

- 答 マダニに咬まれないように気をつけることが重要です。これは、SFTS だけではなく、国内で毎年多くの報告例がある、つつが虫病や日本紅斑熱など、ダニが媒介する他の疾患の予防のためにも有効です。特にマダニの活動が盛んな春から秋にかけては、マダニに咬まれる危険性が高まります。草むらや藪など、マダニが多く生息する場所に入る場合には、長袖・長ズボン（シャツの裾はズボンの中に、ズボンの裾は靴下や長靴の中に入れる、または登山用スパッツを着用する）、足を完全に覆う靴（サンダル等は避ける）、帽子、手袋を着用し、首にタオルを巻く等、肌の露出を少なくすることが大切です。服は、明るい色のもの（マダニを目視で確認しやすい）がおすすめです。DEET（ディート）やイカリジンという成分を含む虫除け剤の中には服の上から用いるタイプがあり、補助的な効果があると言われています。また、屋外活動後は入浴し、マダニに刺されていないか確認して下さい。特に、首、耳、わきの下、足の付

け根、手首、膝の裏などがポイントです。マダニに吸血された場合には、皮膚科などを受診してマダニを除去してもらって下さい（[問 14](#) 参照）。

問 13 国内で患者が報告された地域以外でも注意が必要ですか？

- 答 これまでのところ、SFTS の患者は、西日本を中心に発生していますが、徐々に患者発生が確認された地域が広がっています。これまでに患者が報告された地域以外でも SFTS ウイルスを保有するマダニや感染した動物が見つかっていますので、SFTS 患者の発生が確認されていない地域においても注意が必要です

問 14 マダニに咬まれたら、どうすればよいですか？

- 答 マダニ類の多くは、ヒトや動物に取り付くと、皮膚にしっかりと口器を突き刺し、長時間（数日から、長いものは 10 日間以上）吸血しますが、咬まれたことに気がつかない場合も多いと言われています。吸血中のマダニに気が付いた際、無理に引き抜こうとするとマダニの一部が皮膚内に残って化膿したり、マダニの体液を逆流させて病原体が体内に入りやすくしてしまう恐れがあるので、医療機関（皮膚科など）で処置（マダニの除去、洗浄など）をしてもらってください。また、マダニに咬まれた後、数週間程度は体調の変化に注意をし、発熱等の症状が認められた場合はすみやかに医療機関で診察を受けて下さい。その際、マダニに咬まれたことを医師に説明して下さい。

問 15 ヒト以外の動物もマダニに咬まれて SFTS にかかるのですか？

- 答 国内では SFTS ウイルスに感染し、発症したネコ、イヌ及びチーターが報告されています。現在のところ、西日本を中心に感染した動物が報告されてきており、ヒトでの患者発生地域と重なります。一般的に動物が SFTS ウイルスに感染した場合、多くは症状を示さない不顕性感染と考えられています。ネコでは発熱・元気消失・嘔吐・黄疸などの症状を示し、重症化して約 6 割が死亡しています。また、国内において、シカ、イノシシ等の野生動物や猟犬の血液を検査したところ、SFTS ウイルスに対する抗体を持っている（＝過去に SFTS ウイルスを保有するマダニに吸血されて、SFTS ウイルスに感染したことのある）動物がいることが分かっています。

問 16 SFTS ウイルスに感染した動物を食べても SFTS にかかったりしませんか？

- 答 動物由来食品（肉や乳など）を食べたことによって、ヒトが SFTS ウイルスに感染したという事例の報告はありません。また、ある動物が SFTS ウイルスに対する抗体を持っているということは、その動物が、過去に SFTS ウイルスに感染し、SFTS ウイルスを体内から排除する免疫を獲得していることを意味します。抗体自体に病原性はないので、SFTS ウイルスに対する抗体を持っている動物を食べても問題ありません。ただし、一般的な注意事項として、野生動物を食用にする場合（ジビエなど）は、動物由来感染症や食中毒を防ぐ観点から、捕獲・処理・加工する際の衛生的な処理や十分な加熱調理等、適切な取扱いを行うことが重要です。

参考：食品安全委員会 「[ジビエを介した人獣共通感染症](#)」

問 17 SFTS にかかりやすい、または、重症化しやすい年齢はありますか？

- 答 中国では、SFTS の患者の年齢層は 30～80 歳代で、全患者の 75% が 50 歳以上との報告があります。ただし、患者の年齢構成については、生物学的・医学的要因だけではなく、社会的な要因（発生地域の人口構成、職業構成、医療体制など）の影響も受けると考えられます。日本でこれまでに確認された SFTS 患者の年齢層は、5 歳～90 歳代で、全患者の約 90% が 60 歳以上となっています。亡くなった患者の多くは 50 歳以上なので、高齢者は重症化しやすいと考えられます。

問 18 SFTS の致死率はどのくらいですか？

- 答 中国では、致死率は 6～30%とされています。国立感染症研究所の最新の研究によると、日本の SFTS 患者の致死率は約 30%です。（参考：致死率（case fatality rate）とは、ある特定の病気にかかったと診断され、報告された患者のうち、一定の期間内に死亡した患者の割合を示したものです。）

- 答ありません。（参考：一般的に、蚊やマダニなどの節足動物が媒介する感染症は、その病原体ごとに媒介する節足動物がおおよそ決まっています（例えば、日本脳炎は蚊、日本紅斑熱はマダニ、発疹チフスはシラミが媒介します）。中国の SFTS の流行地域では、マダニからは SFTS ウィルスが見つかっていますが、蚊からは見つかりません。SFTS においては、マダニが人への感染に関わっています。）

- 答 ペットに付いているマダニに触れたからといって感染することはありません。しかし、マダニに咬まれば、その危険性があります。マダニ類はイヌやネコ等、動物に対する感染症の病原体を持っている場合もありますので、ペットの健康を守るためにも、ペットがマダニに咬まれないようにしましょう。また、付いているマダニは適切に駆除しましょう。ペット用のダニ駆除剤等がありますので、かかりつけの獣医師に相談してください。散歩後にはペットの体表をチェックして下さい。目の細かい櫛をかけることも効果的です。マダニが咬着している（しっかり食い込んでいる）場合は、無理に取らず、獣医師に除去してもらうのがよいでしょう。

- #### 14 虫よけ・クマ対策商品等の一例（ひょうご森林林業協同組合連合会でも販売中）



富士錦 **パワー** 森林香

蚊・マダニよけスプレー

携帯に便利な50mlサイズ

機内持ち込みできる
お肌によさしい
ウォータートーン



蚊・マダニよけスプレー

肌にスプレー
害虫から身を守る！

虫よけスプレー



肌にスプレー
害虫から
身を守る！

蚊・マダニよけスプレー



これで嫌な虫も寄ってこないし
仕事もラクラク!!

紀州・和歌山
かとり
線香道り
100年
の伝統

携帯防虫器専用
パワー森林香
30巻

蚊・マダニよけ
スプレーと
併せて使えば、
効果アップが期待できます。

威力がさらにアップ
パワーUP!



人気定番品
携帯防虫器

使用法

虫よけ効果
パワーアップ
スプレーと併用
効果アップが期待できます。

広い野外での
長時間使用に
最適です。

お買い得で便利なセット!

パワー森林香10巻
携帯防虫器
セットBOX

数量
限定

煙の量が違う!

パワー森林香シリーズ

WOOD LAND

防虫・防蜂用ネット。
※帽子は付属して
おりません。



ズリ上がり防止絞りヒモ付き（両脇部分）。顔や首などを防御します。フィットゴム付きでどんなヘルメットにもピッタリフィット！視界部分のみ視界の良い黒メッシュを使用。蜂が寄り付きにくい白メッシュ使用。形状安定ワイヤー入り。
※ヘルメットは付属していません。

STYLING

視界の良い黒メッシュ（前面）と、蜂の寄り付きにくい白メッシュ（背部）の二層構造。



インセクトポイズンリムーバー
エクストラクターポイズンリムーバー

DDS ハチなどの毒液を吸引する応急処置器具。



ハチノック Lサイズ
ハチノック Sサイズ

DDS エアゾールタイプの瞬間殺蜂スプレー。携帯用。

Lサイズ

300ml

Sサイズ

100ml



サラテクト
スズメバチ巣ごと退治

DDS

ヤブ蚊・マダニの感染症(SFTS・ダニ媒介脳炎・デング熱・ジカ熱)から自分を守るサラテクト。

400ml
200ml
100ml



スズメバチ・ツマアカスズメバチ・アブ・ケムシ・ムカデ・カメムシ他。 550ml

スズメバチサラバ

WOOD LAND

スズメバチの攻撃本能を消失させる効果がある。最大有効距離4メートル。有効成分は花の香りの成分で食品添加物にも使われていて安全・安心。

携帯用 100ml
大容量 300ml



スーパースズメバチジェット
ボタニカルジェット 携帯用

岐阜県森達 IKARI

強力ジェット噴射のスズメバチ専用殺虫剤。

480ml

携帯サイズのスズメバチ専用殺虫剤(除虫菊使用)。

180ml



ムシクリン
不快害虫線香 24巻

岐阜県森達 IKARI

野外用・6時間燃焼。ハチ・アブ・ブユなどの害虫を強力に殺虫・忌避。煙の量が通常の虫よけ線香の約3倍。



ヤマビルファイター 135ml
ヤマビルファイター 500ml

岐阜県森達 IKARI

雨でも水に流れないディート配合のヤマビル忌避剤。樹脂の配合で効果は約7日持続、入山前に処理できます。

135ml
500ml



ヒル下がりのジョニー
ヒル下がりのジョニー(詰替え用)

WOOD LAND

ヤマビル忌避剤。環境配慮商品。ディート不使用。詰替え用あり。

スプレーボトル: 140ml

詰め替え用バック: 200ml



ヒルよらん

DDS

植物由来原料のヤマビル忌避剤。長靴・合羽等衣類に直接スプレー。

100cc 入



ヒルムナー

サンケイ化学株式会社

300ml入トリガースプレー容器(高さ20cm・横幅6.8cm)ディート不使用。天然物由来のヤマビル忌避剤。丈夫な容器入りでたっぷり使えます。



ヤマビル忌避テープ シャーリー

SES

使いやすい粘着テープで、確実にヤマビルをシャットアウト。自由な長さに指でカットでき、約5日間持続します。

7cm × 30m/巻



ハッカスプレー

WOOD LAND

用途は色々。臭い消し、虫よけ、眠気ざまし、芳香剤として。お得な詰め替え用もあります。

12ml



フロンティアズマン
ベアスプレー

本体: 258g

TOHYO JUNE

対熊用スプレー。飛距離10.5m(絶対に人に向けて使用しないでください)。携帯用ベルトホルスター付。



ベアホーン

TOHYO JUNE

約800m先まで届く轟音を発生。離れた場所からでもクマやイノシシなど危険な獣類に警告し退散させたり、救難、合図、警笛としても使用できます。



【注意】
防虫ネット・防蜂ネット
以外は
本交付金対象外です